

令和2年度第1回自立支援協議会こども部会 議事要旨

1. 開催日時 令和2年7月6日(月)午後1時30分～3時
2. 開催場所 市役所4階 会議室S2・3
3. 出席者(委員) *団体名のみ記載
教育研究センター(リーダー)、NPO法人千楽(サブリーダー)
浦安手をつなぐ親の会、浦安市自閉症協会、NPO法人かぶあ
社会福祉法人パーソナル・アシスタンスとも、特定非営利活動法人ワーカーズコープ
NPO法人発達わんぱく会、社会福祉法人なゆた、NPO法人アリスのうさぎ
千葉県立市川特別支援学校、千葉県立船橋夏見特別支援学校、千葉県立浦安高等学校
浦安市立小学校長会、浦安市立中学校長会、こども課、こども発達センター
(事務局) 障がい事業課、障がい福祉課

4. 議事次第

1. 開会
2. 議題
(1) 第1回自立支援協議会の協議内容の報告
(2) 令和元年度こども部会の振り返りと令和2年度の議題について
(3) 障がい者福祉計画の策定と障がい福祉に関するアンケート調査結果について
3. 閉会
4. 配布資料
議題2資料1 令和元年度こども部会の振り返りと令和2年度こども部会の議題について
議題2資料2 令和元年度こども部会の振り返り
議題2資料3 他市フローチャート・連携図
議題3資料1 浦安市障がい者福祉計画について
議題3資料2 障害者計画及び第6期障害福祉計画に係る基本方針について

5. 議事概要

- (1) 第1回自立支援協議会の協議内容の報告

■説明(事務局)

令和2年7月2日に開催された第1回の自立支援協議会の内容について報告。

議題1は令和2年度の自立支援協議会のスケジュールについて。9月の合同部会は中止とする。

議題2は各部会の部会活動報告について。作業部会で事例検証をおこなう際に、架空事例であっても、非公開とすることは妥当だが、部会委員であれば、非公開の内容であっても、他の部会を傍聴することは可能と運用を見直した。また、部会の議事要旨は、リーダー、サブリーダーだけでなく、出席した委員全員で確認する運用に変更する。最後に、地域生活支援部会か

ら、相談部門の委員を追加してほしいという意見があったが、各部会の議題やテーマによってオブザーバーという形で、他の部会委員に参加いただくことが可能であることを説明した。

議題3は東野複合福祉施設について。施設の概要、愛称が東野パティオに決定した報告と決定までの過程、施設に導入する主な機能と運営開始日を説明した。通所棟はソーシャルサポートセンター、ふる里学舎浦安デイセンター（生活介護・就労継続B型）、発達障がい者等地域活動支援センター（愛称M i t t e）がすでに運用を開始している。今後、8月に通所棟の地域福祉センター（会議室の貸出し）と身体障がい者福祉センターがオープン、10月からは居住棟でグループホーム、障がい者短期入所、放課後等デイサービス、子育て短期支援事業がオープンする予定と説明した。

議題4は新型コロナウイルス感染症対策について。新型コロナウイルス感染症における市内各事業所の運営状況、事業者側からの要望、市の取組について説明を行い、意見を伺った。

■主な意見

特になし

(2) 令和元年度こども部会の振り返りと令和2年度の議題について

■説明（事務局）

令和元年度第4回こども部会で委員へ実施した、令和元年度こども部会を振り返るためのアンケート結果を報告。他の機関とのつながりが深まったという意見、令和2年度は引き続き事例検証や委員同士の情報共有をしたほうが良いという意見や、こどもの相談に関するフローチャートの作成をしたかどうかという意見があったことを説明した。

令和2年度の議題案について、事務局より、「浦安市障がい者福祉計画策定について」・「事例検証や意見交換」・「フローチャートや連携図の作成」を提案した。また、フローチャートや連携図の内容についても、他市の作成したものを提示しながら意見を伺った。

■主な意見（リーダー：リ、サブリーダー：サ、委員：委、事務局：事）

委：「福祉の連携」が他の分野でも同じようにテーマとして上げられているが、どこもうまくいかないという話を耳にする。連携して何をしたいのか、何をするのかということが共通の認識として出来上がっていないと、何から取り組んでいいのかわからない。

委：フローチャートもいいと思うが、誰が使うものなのかを考える必要があると思う。前年度の作業部会だと、事業者などが支援のツールとして使う際に便利なものというような形で議論されていたように思う。

委：相談場所が専門ごとに分かれてしまっていて、当事者があちこちに相談しなければならないという話を聞くので、教育の分野でいろいろな障がいのスペシャリストと呼ばれる方たちが一堂に会して何でも相談できるような場が必要だと思う。オンラインなども活用しながら、そこで出てきた声を具現化していけるといいと思う。

委：こども部会では、小さな子どもだけでなく、中学を卒業した高校生ぐらいの子どもたちの支

援も充実できるように議論をしていけるといいと思う。

委：各委員が、どういう立場の方がどのように関わっているのか知らないと話が進まないと思うので、そのために事例検証をしたほうがいい。そこを知らないと、フローチャートを見ても、活字でしか頭に入らなくて、活用するのは難しいと思う。

委：所属で意見交換などをする時間がとれるのは1か月に1回なので、ある程度の議題やテーマを事前に教えてほしい。

(3) 障がい者福祉計画の策定と障がい福祉に関するアンケート調査結果について

■説明

障がい者福祉計画の策定と障がい福祉に関するアンケート調査結果について事務局より報告した。

■主な意見（リーダー：リ、委員：委、事務局：事）

リ：こども部会で話し合う対象は学齢の子どもたちなので、学校にいる時間について話し合うことが多いが、浦安市総合計画の中でも、障がいのある人もない人も持てる力が発揮できて、居場所があって、本当に輝けるとしていくためには、学校でも福祉人権教育も必要というところも書かれていて、お互いを理解し合えることが大事なのかなと思うので、アンケートの報告書を参考にさせていただきながら取り組んでいただきたい。

委：障がい福祉サービスを提供している事業者へのアンケート結果で、17ページに、サービス提供の上での課題の問いに対して、「申込数が多く、利用者の希望するサービスが提供できない」が3番目に多くなっているが、8ページの運営上の課題の問いでは、「利用者の確保が困難」が3番目に多くなっていて、矛盾しているように感じる。

委：障がい福祉に関するアンケート結果の56ページに、「障がいの子の1人で通うことができない」という回答が20%ぐらいある。電車やバス移動が伴うと親も心配なので、通学を支援してもらえる事業所があれば教えてほしい。